

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月曜日・2校時	必修選択 選択	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	人間の科学(一般心理学) Human Sciences (General Psychology)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 102	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 宮崎正明/Eメールアドレス:m-miya@net.nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部 222/TEL:095-819-2392 /オフィスアワー:授業の前後に講義室で受けつける。			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい: 人間の示す多様な心理や不適応行動について正しく理解し、それに適切な対応をするためには、人間の性格、適応、集団、学習、記憶、思考などについての基礎知識が必要である。授業では、人間の行動を科学的に究明する能力を身につける。</p> <p>授業方法: 講義形式(一斉指導)</p> <p>授業到達目標: 性格形成の要因、適応・不適応、集団の形成と機能、学習理論、記憶の働き、思考の型、問題解決、創造性の過程、感情の諸相など、人間の行動についての知識や理解を深め、行動を科学的に究明し、分析できる。</p>			
<p>授業内容(概要) 人間の性格、適応や不適応、集団の形成、学習理論、記憶、忘却、思考、問題解決、創造性、感情など行動を科学的に究明することを学ぶ。</p> <p>第1回 心理学の研究方法 心理学研究の目的、心理学の研究領域、人間理解の方法について学ぶ。 第2回 性格の心理と性格検査(1) 遺伝や環境などの性格形成要因、性格異常について学ぶ。 第3回 性格の心理と性格検査(2) 性格の理解、特に、性格の類型論、特性論、構造論について学ぶ。 第4回 適応の心理(1) 適応や不適応、自己意識と適応について学ぶ。 第5回 適応の心理(2) 欲求不満に伴う緊張解消の仕方を学ぶ。 第6回 集団の心理(1) 集団の形成と機能について学ぶ。 第7回 集団の心理(2) 集団のリーダーシップについて学ぶ。 第8回 学習の心理(1) 条件反射説、試行錯誤説、洞察説などの学習理論について学ぶ。 第9回 学習の心理(2) 学習に影響する条件(学習方法、学習環境等)について学ぶ。 第10回 記憶の心理(1) 記憶の諸相(記憶の働き、記憶の発達)について学ぶ。 第11回 記憶の心理(2) 忘却の過程、忘却の条件、記憶の工夫について学ぶ。 第12回 思考の心理(1) 思考の型、問題解決の型について学ぶ。 第13回 思考の心理(2) 創造性の過程、創造性の開発について学ぶ。 第14回 感情の心理 感情の諸相、情緒の異常について学ぶ。 第15回 授業の総括(まとめ・試験を含む)</p>			
キーワード	行動の科学・自己診断・自己理解・自我同一性の確立・幸せに生きる		
教科書・教材・参考書	下記のテキストを用いて授業をする。 幸せをよぶ心理学 武藤雪下 編著 北大路書房		
成績評価の方法・基準等	定期試験(30点)、自己診断検査のレポート(30点)、テキストを読んだレポート(30点)、授業への貢献度(10点)、合計60点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)	心理学に興味・関心のある学生を求める。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	人間行動の理解を深め、社会的適応力を高める。		
備考(準備学習等)	テキスト「幸せをよぶ心理学」に興味・関心のある章から読む。		